

計画事業番号	00149	事務事業名	認知症支え合い事業	担当部署	保健福祉部 高齢者支援課	電話	2172
--------	-------	-------	-----------	------	-----------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	介護保険法、北広島市いどころ発信システム助成事業実施要綱 ほか				
事務事業開始年度	平成24年度	個別計画等	高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	特別会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章)	支えあい健やかに暮らせるまち
	(第 5 節)	高齢者福祉・介護の充実
	(施策 4)	地域支援体制の推進
2 対象	認知症の方、認知症の予防が必要な方及び徘徊が見られる高齢者等	
3 目的と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いどころ発信システム助成事業 認知症高齢者等が徘徊し行方不明となったとき、居場所がわかるGPS通信端末機の導入初期費用を助成し、早期発見と事故防止を図る。 ・認知症高齢者等SOSネットワーク事業 認知症高齢者等が徘徊し行方不明となった場合に、地域の支援を受けて早期に発見するため、関係機関の支援体制を構築し、生命、身体の安全を確保する。 	
4 実施内容 (手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> ①いどころ発信システム助成事業 ②認知症高齢者等SOSネットワーク事業、地域見守り事業の運用 ③認知症啓発団体への支援(認知症サポーター養成講座)
	29年度	<ul style="list-style-type: none"> ①いどころ発信システム助成事業 ②認知症高齢者等SOSネットワーク事業、地域見守り事業の運用 ③認知症啓発団体への支援(認知症サポーター養成講座)については、地域支え合い体制づくり事業へ移行

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
いどころ発信システム(GPS端末)の助成 認知症啓発団体への支援 SOSネットワークの運用	いどころ発信システム(GPS端末)の助成 認知症啓発団体への支援 21団体 869人 SOSネットワークの運用	いどころ発信システム(GPS端末)の助成 認知症啓発団体への支援(地域支え合い体制づくり事業に移行) SOSネットワークの運用	いどころ発信システム(GPS端末)の助成 SOSネットワークの運用	いどころ発信システム(GPS端末)の助成 SOSネットワークの運用

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			74		222		236		250	
事業額	直接事業費	国支出金	29		87		92		98	
		道支出金	14		43		46		49	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	14		43		46		49	
		一般財源	17		49		52		54	
	① 合計	74		222		236		250		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	1,680	0	1,680	0	
総事業費①+④			1,754		1,902		1,916		1,930	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	① いどころ発信システム(新規)	目標値	人	8	8	8	8
		実績値		5			
	② SOSネットワーク事案発生件数	目標値	件	3	3	3	3
		実績値		4			
③	目標値						
	実績値						
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	認知症の方の生活の安定と介護する家族の負担軽減のため、必要な事業である。 また、認知症への理解を深め、地域全体で認知症の方と家族を支える仕組みを作るために必要な事業である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	介護保険サービスでは対応できないところをカバーし、認知症の方とその家族を支援することで、安心した日常生活を送ることに貢献している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	認知症による徘徊により、行方不明となった際、関係機関の協力で早期発見、保護に成果をあげている。 また、認知症の方への声のかけ方などを正しく知ること、地域での理解が広がり、認知症になっても住み慣れた自宅での生活が継続できる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	進展する高齢社会においては、地域での見守り活動などが重要となることから、時間をかけ、継続した取組が必要である。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
-------------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。
	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。